

# 全科協ニュース

URL <http://jcsn.kahaku.go.jp/JCSM/>

全国科学博物館協議会 東京都台東区上野公園 国立科学博物館 ☎110-8718 Tel.5814-9857・9858 Fax.5814-9898 平成12年5月1日発行（通巻第172号）

## 特集 平成11年度第2回総会及び第7回研究発表大会開催

平成12年3月14日～16日 名古屋市科学館

平成12年3月14日(火)から16日(木)の間、名古屋市科学館において、平成11年度第2回全科協総会、第7回研究発表大会等を開催しました。

### <平成11年度第2回総会>

第2回総会の出席館は79館、委任状提出館は140館で、「平成12年度事業計画(案)」「平成12年度収支予算(案)」及び「平成11年度予算の補正(案)」について審議され、それぞれ承認されました。

### 加盟館園の状況

#### 1. 館園数

平成12年3月14日現在

区分	平成11年度 第1回総会時 (11年6月30日)	平成11年度 第2回総会時 (12年3月14日)	内 訳		増減
			入会	退会	
正会員	245	250	5	0	5
購読会員	21	21	0	0	0
維持会員	31	31	0	0	0
計	297	302	5	0	5



研究発表大会で基調講演を行う Robert J. Semper 氏

#### 2. 入退会館園

平成11年6月30日～平成12年3月13日

区分	館 園 名	備 考
入 会	神戸市水の科学博物館	正 会 員
	福井市児童科学館	正 会 員
	サイエンスワールド (岐阜県先端科学技術体験センター)	正 会 員
	北陸電力エネルギー科学館	正 会 員
	佐賀県立宇宙科学館	正 会 員

#### 3. 正会員の設置者別内訳

区分	館園数 (%) 平成11年度 第1回総会時	館園数 (%) 平成11年度 第2回総会時	増減	
				国
国 公	1 国	7 (2.9)	7 (2.8)	0
	2 都道府県	50 (20.4)	53 (21.2)	3
	3 市町村	99 (40.4)	100 (40.0)	1
私	4 財団法人	30 (12.3)	30 (12.0)	0
	5 株式会社	40 (16.3)	41 (16.4)	1
	6 個人	2 (0.8)	2 (0.8)	0
	7 社団法人	2 (0.8)	2 (0.8)	0
8 その他	15 (6.1)	15 (6.0)	0	
計	245 (100.0)	250 (100.0)	5	

## 平成12年度 全国科学博物館協議会事業計画

## 1. 管理運営

事 項	内 容	実施時期	参加者	会 場	備 考
理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度は2回実施する。</li> <li>第1回は平成11年度の事業報告及び収支決算報告等について審議する。</li> <li>第2回は平成13年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について審議する。</li> </ul>	第1回 平成12年 6月下旬  第2回 平成13年 3月中旬	理事館 16館	第1回 国立科学博物館  第2回 府中市郷土の森 博物館(予定)	第1回総会時開催  第2回総会時開催
総 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度は2回実施する。</li> <li>第1回は平成11年度の事業報告及び収支決算報告等について審議する。</li> <li>第2回は平成13年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について審議する。</li> </ul>	第1回 平成12年 6月下旬  第2回 平成13年 3月中旬	正会員 維持会員 購読会員	第1回 国立科学博物館  第2回 府中市郷土の森 博物館(予定)	第1回総会時には、 記念講演等を行う。  購読会員には、総会 での議決権はない。

## 2. 事 業

## (1) 研修事業

事 項	内 容	実施時期	対 象	会 場	備 考
博物館職員 現職研修 (ミュージアム・ マネジメント 研修)	博物館経営に関する資質向上を図るため、生涯学習時代における博物館の役割、博物館経営の視点等の講義、討議を行う。	平成13年 3月上旬 (4日間 程度)	自然科学系 博物館に勤 務する管理 部門職員等  40人程度	国立科学博物館等	共催： 国立科学博物館 協力：東京大学  ※管理部門職員 (館長、部課長等)
学芸員専門研修 (アドバンスト・ コース研修)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動等について専門的、実践的な研修を行う。	平成12年 10月下旬 (5日間 程度)	自然科学系 博物館に勤 務する中堅 学芸員等  30人程度	国立科学博物館等	共催： 国立科学博物館  開設コース： 植物・地学・理工学
海外科学系 博物館視察研修	海外の科学系博物館等における運営、展示技術、教育普及活動などに関する知識を深め、博物館の充実、発展に資することを目的として視察研修を実施する。	平成13年 1月中旬 (14日間 程度)	20人～ 25人程度	訪問予定館 6館程度 国立天文台ハワイ 観測所、ピシヨッ プ博物館、サンデ ィエゴ航空宇宙博 物館ほか(予定)	訪問地域は年度 毎に、北米大陸、 ヨーロッパ、オー ストラリアなど、 地域を考慮のうえ 選定、実施する。 ・参加費用 約500,000円

(2) 連携促進事業

事 項	内 容	実施時期	参 加 者 等	会 場	備 考
研究発表大会	博物館活動の充実に資するため、展示、教育普及活動、研究活動等に関する成果について、発表及び研究協議を実施する。	平成13年 3月中旬	正 会 員 維持会員 購読会員	府中市郷土の森 博物館（予定）	
共同企画展等 調 査 研 究	加盟館園で実施されている巡回展「南極展」「数学展」及び「すばる展」、企画展等の実施状況などについて調査を実施する。	平成12年度 4月～3月	委員10人 (科学系博物館 職員等)		
科学系博物館における教育普及事業に関する 調 査 研 究	科学系博物館における展示資料・教育資料を活用した「教育普及事業」の現状と課題、今後の方向性などについて調査研究を実施する。	平成12年度 4月～3月	委員22人(予定) (常任委員12人) (地区委員10人)		新規
事業に対する 共催・後援等	加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、適当と認められる事業に対し共催、後援を行う。				

(3) 広報普及事業

事 項	内 容	実施時期	備 考
機 関 誌 の 発 行	機関誌「全科協ニュース」を発行し、加盟館園等を対象として、全科協が行う各種事業やその他の諸活動に関する情報を提供し、全科協の事業運営への理解と加盟館園相互の協力関係を促進する。	年 6 回 発 行 (奇数月発行)	A 4 判 12頁程度 各号の発行部数 1,400部 特集記事は、海外科学系博物館視察 研修報告などを掲載する。 編集委員会において、掲載記事の検 討など内容の充実を図る。
全科協ホームページ の 運 営	全科協ホームページの充実を図るため、全科協ホームページの内容の充実を行うとともに、新たにホームページを開設した加盟館園等のリンク作業を実施する。	随 時	
入 会 案 内 及 び 広 報 活 動	新設の科学系博物館等に対して入会の勧誘を行うほか、全科協の活動について、自治体等関係機関、団体及び企業等に対し広く広報を行う。	随 時	

## &lt;文部省博物館振興施策紹介及び全科協活動報告&gt;

## ○文部省博物館振興施策紹介

文部省生涯学習局社会教育課 中垣英明室長から「平成12年度博物館関係予算額(案)」等の資料に基づき、施策の紹介がありました。(注)

## ○全科協活動報告

平成11年度の主な活動について、次のとおり報告が行われました。

## ①共同企画展等調査研究委員会報告

国立科学博物館普及部 佐藤兆昭普及課長から、文部省委嘱事業「科学系博物館ネットワークを活用した巡回展の

開発・運営モデル事業」について報告が行われました。

## ②科学系博物館ホームページの総合的な開発・高度化支援事業報告

国立科学博物館普及部普及課 志津田嘉康博物館情報専門官から文部省委嘱事業「科学系博物館のホームページの総合的な開発・高度化支援事業」及び「科学系博物館における標本資料データベースの標準化に関する調査研究」について報告が行われました。

## ③海外科学系博物館視察研修について

平成11年度海外科学系博物館視察研修について、斎藤報恩会自然史博物館 斎藤温次郎博物館統括(平成11年度視察団団長)から、報告が行われました。



文部省博物館振興施策紹介を行う中垣室長

調査・企画・デザイン・設計・製作・施工・  
監理・運営およびコンサルティング・プロデュース

より良い「社会交流空間づくり」にむけて…。

 株式会社 丹青社

〒110-0005 東京都台東区上野5-2-2 TEL 03-3836-7221(代表)  
札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・鳥取・福岡  
URL <http://www.tanseisha.co.jp>

めざすのは  
「小宇宙」の実現です。

 **NOMURA**

株式会社 乃村工藝社

本社/東京都港区芝浦4-6-4 〒108-8565 電話03-3455-1171(代)  
ホームページ <http://www.nomurakougei.co.jp>

ディスプレイおよび建築の調査・コンサルティング・  
企画・設計・デザイン・プロデュース・演出・制作施工

<第7回全科協研究発表大会>

研究発表大会では、「生涯学習社会における科学系博物館ネットワークの役割」をテーマに、国内外の博物館における科学系博物館ネットワーク活動などの実態を比較等していただくため、国際シンポジウムを次のとおり開催しました。参加人数は約150人でした。

○基調講演

・科学系博物館を中心とした環境学習ネットワークの構築について

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 館長 中川 志郎

・ネットワーク世界における科学系博物館の役割

米国エクスポラトリウム 副館長 Robert J. Semper

○事例発表

・科学センターのネットワーク：時折の楽しみとバックグラウンド雑音ネットワークからより多くのものを得るにはどうするか

シンガポール科学センター 館長 Chew Tuan Chiong

・科学博物館ネットワークを活用した巡回展の開発・運営モデル事業

国立科学博物館 普及課長 佐藤 兆昭

・科学系博物館のホームページの総合的な開発・高度化支援事業

国立科学博物館普及課 博物館情報専門官 志津田 嘉康

・エデュテインメント性豊かな学習プログラムの構築

—南関東地域での事例—

神奈川県立生命の星・地球博物館 館長 濱田 隆士



懇親会—ASPAC 会議のメンバーと—

・科学センターのネットワーク：計画・評価・展示における役割

オーストラリア国立科学技術センター 館長

Annie V. Ghisalberti

・出前科学実験ショー—名古屋市科学館を拠点にして—

名古屋市科学館 館長 樋口 敬二

・中国科学技術博物館と同館における多様な科学技術教育の活動

中国科学技術博物館 副館長 Liu Jidong

・海をテーマとした生涯学習ネットワークの構築について

鳥羽水族館 企画室長 中村 元

・科学系博物館と大学の連携について

—科学系博物館活用ネットワーク推進事業「大学と科学系博物館が連携した青少年向け科学実験モデルの開発と普及事業」を終えて—

早稲田大学理工学部 技術総務部 齋藤 泰秀

・地域から利用される博物館を目指して

滋賀県立琵琶湖博物館 統括学芸員 布谷 知夫

・動物園水族館活用ネットワークの構築について

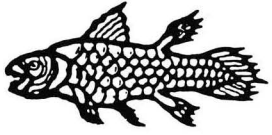
マリニピア松島水族館 館長 西條 正義

(注)文部省博物館振興施策紹介の資料「平成12年度博物館関係予算額(案)」及び研究発表大会の報告書は別途加盟館園に送付しますので、詳しくはそちらをご参照ください。

美術

# はく製

<各種生物>  
剥製・骨格標本・レプリカ  
加工/販売/リース



有限会社 東洋近代美術研究所

製作所 〒272-0816 千葉県市川市本北方2-18-1 直通 ☎047-337-5678  
☎047-337-5883  
本社 〒272-0834 千葉県市川市国分5-3-25 FAX 047-338-1978  
☎047-374-1564

### ＜施設見学＞

3月16日には、トヨタ博物館、産業技術記念館の施設見学を行いました。

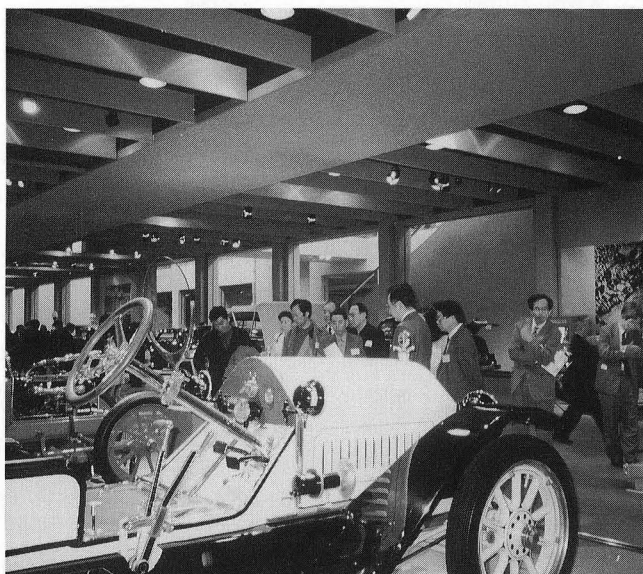
当日はあいにくの雨でしたが、全科協加盟館園からは約40名の参加、また、研究発表大会の国外発表者のほか、ASPAC（Asia Pacific Network of Science and Technology Centres：アジア太平洋地域科学館協会）会議出席者の参加もありました。

トヨタ博物館では、稼働できるように整備されたたくさんの車両の展示が非常に印象的でした。また、1999年4月に開館した新館では、日本のモータリゼーションの歩みと

生活文化の変遷を展示する常設展等を見学しました。

産業技術記念館は、旧豊田紡績本社工場に残されていた建物を貴重な遺産として生かしながら設立されたもので、主に紡績機械や自動車の製造技術について展示されています。展示されている繊維機械はすべて稼働させることができるようで、施設見学の際も実際に動いている機械の姿を見せていただくことができました。

スケジュール的には非常に忙しい施設見学となってしまいましたが、二つの施設を見学することができ、有意義なものになったのではないかと思います。



施設見学—トヨタ博物館—



施設見学—産業技術記念館にて糸車を体験—



施設見学—産業技術記念館—

INTERIOR / EXTERIOR / DESIGN / EQUIPMENT  
**ONY KOBO CO., LTD.**  
 東京都千代田区神田神保町2-40-5 東久ビル  
 TEL.(03) 3221-1102(代) FAX (03) 3221-1185



動物園／水族館／博物館  
 企画・設計・施工



**COLORATA.**

ミュージアムグッズの企画・制作・販売・輸入  
 カロラータ株式会社

本社・企画室  
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-6-8 西澤ビル  
 TEL.03-3865-8110 FAX.03-3864-4049

営業部・商品管理部  
 〒136-0072 東京都江東区大島2-13-11  
 TEL.03-3684-8311 FAX.03-3684-8310

**TOKYO SCIENCE CO., LTD.**

ミュージアム・ショップ向／教育用地学標本

地学標本(化石・鉱物・岩石)  
 古生物関係模型(レプリカ)

大英博物館／恐竜復元模型

●常設ショールーム：紀伊國屋書店・新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)

**髯東京サイエンス**  
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル  
 TEL.03(3350)6725 FAX.03(3350)6745  
 E-mail: science@oak.ocn.ne.jp



since 1974

※世界の化石・  
 鉱物・恐竜・化石  
 人類・動物骨格  
 標本及び模型の  
 輸入専門業者



ティラノサウルス・REX

株式会社 **ゼネラルサイエンス**  
 コーポレーション

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴビル802  
 TEL 03 (3583) 0731代表 FAX 03 (3584) 6247

**感じる科学**

動刻

▲恐竜ロボット  
 ティラノサウルス

▲人体型ロボット  
 コスモ博士(管轄科学技術館)

文化施設・商業施設・ディスプレイ企画・設計・施工

**kokoro** 株式会社ココロ

〒205-0023 東京都羽村市神明台4丁目9番1号  
 TEL0425 (30) 3911(代)・3939(営業)  
 FAX0425 (30) 3900・3927(営業)



## 海 外 ニ ュ ー ス

安井亮事務所

**米ボルチモアで、小児歯科に関連した企画展が開催中**

アメリカの多くの子ども博物館で、子どもを対象とした歯の健康普及を目的とした参加型展示（参考：トータルメディア開発研究所編『チルドレンズ・ミュージアム』1998年刊）が設けられており、早いうちから歯の健康を守ることに熱心なアメリカ社会の一端を垣間見ることができる。現在メリーランド大学サミュエル・D・ハリス歯科学博物館（ボルチモア）で、20世紀における小児歯科の発展を紹介した企画展が開催されており、口腔衛生の重要性、アメリカにおける歯科学の歴史などが紹介されている。同展では、子どもも観覧者の対象者に含まれ、子ども向けに歯科診療院を再現した展示コーナーや歯の健康に関連した児童書を集めた静かな図書コーナーが設けられている。子どものサイズにあわせてつくられた歯科診療室では、子どもたちは歯医者さんごっこ遊びをしながら、歯磨きの重要性が理解できるようになっている。会期は2002年1月まで。

Dr. Samuel D. Harris National Museum of Dentistry

**米ローリーで、「エクスプローリス」が開館**

1999年10月に「エクスプローリス」が、ノースカロライナ州ローリーに開館した。同館は、青少年を対象に、世界の多くの人々との良好な関係を育てるために設けられた子ども博物館である。21世紀のめまぐるしい社会変化に対応できる若い人材を育てることを基本的な考え方としている。最新のマルチメディア技術と、参加性が高い展示および教育プログラムを通じて、地球規模での経済、環境問題、インターネットを使ったコミュニケーション、運輸における技術的發展、文化の多様性（diversity）と流動性などについての理解を促すことを試みている。延べ面積：7,900m<sup>2</sup>。総工費：4,000万ドル。Exploris

**アメリカ自然史博物館で、地球と宇宙の展示ホールが完成**

ニューヨークのアメリカ自然史博物館で、数年にわたって続いていた総工費2億1,000万ドルの拡張工事が終わり、このほど地球を紹介した常設展示ホールと宇宙を紹介した常設展示ホールが新たにオープンした。またニューヨーク市民に長く愛されたハイデマン・プラネタリウムも大々的に改装されてオープンした。

**コーニング・ガラス博物館に、新しい常設展がオープン**

アメリカの代表的なガラス製造メーカーであるコーニン

グ社によって設立されたコーニング・ガラス博物館（ニューヨーク州コーニング）に、総額6,200万ドルをかけた拡張工事により、新しい常設展示施設「ガラス・イノベーション・センター」が、1999年6月にオープンした。同センターは3つの展示室によって構成されている。「ウィンドーズ・ギャラリー」では、板ガラスの製造の歴史が紹介され、「オプティックス・ギャラリー」では、レンズの歴史が紹介されている。また「ヴェシルズ・ギャラリー」では、生活道具としてのガラス器の歴史が紹介されている。

**ロンドン科学博物館のコンソズ館長が勇退**

ロンドン科学博物館のニール・コンソズ博士が2000年6月に勇退する。後任にカナダのロイヤル・オンタリオ・ミュージアム（Royal Ontario Museum）のリンゼー・シャープ館長（イギリス生まれ）が就任する予定である。欧米の博物館では、ここ数年、外国からマネジメントで有能な館長を館のトップに迎えることが多くなってきている。1999年には、オーストラリアのビクトリア博物館（メルボルン）は、カナダからジョージ・F・マクドナルド氏を、同館のトップに迎えた。同氏は、カナダの国立カナダ文明博物館で1983年より1998年まで最高経営執行者（CEO）をつとめた。米国マサチューセッツ工科大学（ケンブリッジ）でも、MIT博物館にイギリスのケンブリッジ大学のフィッツウィリアム博物館よりメアリー・リーン氏を館長に迎えた（1997年）。一方、マレーシアのクアランパールで1999年に開館したペトロサイエンス・ディスクバリー・センターも、1998年にオーストラリアの「クエストコン」（キャンベラ）からジェフリー・スノードン氏を館長に迎えた。同氏は、クエストコンの館長を12年つとめ、世界の科学博物館の間ではその経営手腕を高く評価されている人物であり、現在東アジア・太平洋圏の科学博物館で構成するASPACの重要なメンバーでもある。今までは、研究員による留学や研修といったことが多かったが、今後はこうした館経営トップの動きもひんぱんになってくると予想されている。いつの日にか、日本の博物館でも外国籍の館長が、常勤として外国から招かれるかも知れない。

**英ブリストルのエクスプロラトリーが廃館**

イギリスの最初の科学館「エクスプロラトリー」が、経営難により、ついに1999年9月にその20年の歴史を閉じた。



**MAGDAがホームページを開設**

英国の博物館・バリアフリー協会 MAGDA が、4月17日にホームページを開設した。

[http://www magda.org.uk/](http://www.magda.org.uk/)

**新しいホームページ**

Bergbaumuseum. Klagenfurt Austria

[www.bergbaumuseum.at/](http://www.bergbaumuseum.at/)

Danish Museum of Electricity Bjerringbro Denmark

[www.elmus.dk/](http://www.elmus.dk/)

Dr.Samuel D. Harris National Museum of Dentistry.

Baltimore USA [www.dental.umaryland.edu/dental/museum](http://www.dental.umaryland.edu/dental/museum)

Estonian Maritime Museum. Tallinn Estonia

[www.tallinn.ee/meremuuseum/](http://www.tallinn.ee/meremuuseum/)

Exploris. Raleigh U.S.A.

[www.exploris.org/](http://www.exploris.org/)

Haus der Natur. Salzburg Austria

[www.salzburg.co.at/hausdernatur/](http://www.salzburg.co.at/hausdernatur/)

Kohl Children's Museum. Wilmette U.S.A.

[www.kohlchildrensmuseum.org](http://www.kohlchildrensmuseum.org)

Landesmuseum fur Klagenfurt. Austria

[www.buk.ktn.gv.at/landesmuseum/](http://www.buk.ktn.gv.at/landesmuseum/)

Lithuanian Aviation Museum. Kaunas Lithuania

[www.lam.lt/](http://www.lam.lt/)

McMurdo Historical Society McMurdo Station

Antartica [www.mcmurdohistory.org/](http://www.mcmurdohistory.org/)

Movarian Museum. Brno Czech [www.mzm.cz/](http://www.mzm.cz/)

Musee des telecommunication Le Radome.

Pleumer-Bodou France [www.telecom-museum.com/](http://www.telecom-museum.com/)

Musee Electropolis. Mulhouse France

[www.hrnet.fr/~Electropolis/](http://www.hrnet.fr/~Electropolis/)

Museo Nacional de Columbia. Bogota Columbia

[www.museonacional.gov.co/](http://www.museonacional.gov.co/)

Museon. Den Hague Netherlands

[www.museon.nl/](http://www.museon.nl/)

Museum Geyerhammer. Scharnstein Austria

[www.welcome.to/museum.geyerhammer](http://www.welcome.to/museum.geyerhammer)

Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa.

Wellington New Zealand [www.tepapa.govt.nz/](http://www.tepapa.govt.nz/)

National Maritime Museum.

Wellington New Zealand [www.nzmaritime.org/](http://www.nzmaritime.org/)

National Museum of the History of Science & MedicineLeiden Netherlands

[www.museumboerhaave.nl/](http://www.museumboerhaave.nl/)

National Rail Museum. Delhi India

<http://railmuseum.com/>

National Technical Museum. Prague Czech

[www.ntm.cz/auvod.htm](http://www.ntm.cz/auvod.htm)

Natural History Museum. Maastricht Netherlands

[www.nhmmaastricht.nl/](http://www.nhmmaastricht.nl/)

Naturhistorisk Museum. Aarhus Denmark

[www.naturhistoriskmuseum.dk/](http://www.naturhistoriskmuseum.dk/)

North Sea Museum. Hirtshals Denmark

[www.north-sea-museum.dk/](http://www.north-sea-museum.dk/)

Norwegian Telecom Museum. Oslo Norway

[www.telenor.no/telemuseum/](http://www.telenor.no/telemuseum/)

Steiermaekisches Landesmuseum Joanneum.

Graz Austria [www.museum-joanneum.at/](http://www.museum-joanneum.at/)

Telephone Museum. Hellerup Denmark

[www.telefonmuseet.dk/](http://www.telefonmuseet.dk/)

Textile Museum. Tilburg Netherlands

[www.tilburg.nl/textielmuseum/](http://www.tilburg.nl/textielmuseum/)

Teylers Museum. Haarlem Netherlands

[www.teylersmuseum.nl/](http://www.teylersmuseum.nl/)

Tiroler Landesmuseum Ferdinandeum.

Innsbruck Austria [www.tiroler-landesmuseum.at/](http://www.tiroler-landesmuseum.at/)

Toyen University Natural History Museums.

Toyen Norway [www.toyen.uio.no/toyensider/](http://www.toyen.uio.no/toyensider/)

University of Amsterdam Computer Museum

Netherlands [www.science.uva.nl/faculteit/museum/](http://www.science.uva.nl/faculteit/museum/)

University of Delft Technology Museum.

Netherlands. [www.museum.tudelft.nl/](http://www.museum.tudelft.nl/)

Utrecht University Museum. Netherlands

[www.museum.ruu.nl/](http://www.museum.ruu.nl/)

Viljandi Museum. Viljandi Estonia

[www.muuseum.viljandimaa.ee/](http://www.muuseum.viljandimaa.ee/)

World of Glass. St. Helens U.K.

[www.worldofglass.com/](http://www.worldofglass.com/)

\*安井亮事務所：Fax.042-736-5916

E-mail:[zakvaran@pop12.odn.ne.jp](mailto:zakvaran@pop12.odn.ne.jp)

# 5月6月の特別展

- |                                |                               |                           |
|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| <b>釧路市青少年科学館</b>               | 企画展「ちびっこ恐竜来る」                 | 3月11日～5月14日               |
| 特別展「木のおもちゃ展」                   | 5月3日～5日                       |                           |
| <b>岩手県立博物館</b>                 | 「SAYAMAの埋蔵文化財展—過去・現在そして、未来へ—」 | 3月18日～6月18日               |
| 第50回企画展「岩手の経塚」                 | 3月22日～5月7日                    |                           |
| テーマ展「骨が語る動物たちのかたち」             | 6月6日～8月27日                    |                           |
| <b>久慈琥珀博物館</b>                 | 「'99 ワイルドライフ写真大賞展」            | 4月22日～5月31日               |
| 「新収蔵資料展」                       | 4月22日～7月11日                   |                           |
| <b>陸前高田市海と貝のミュージアム</b>         | 「日本の科学者の歴史」展                  | 4月16日～6月28日               |
| 「流水の天使・クリオネ」展                  | 3月17日～5月31日                   |                           |
| <b>秋田県立農業科学館</b>               | <b>埼玉県立自然史博物館</b>             | 企画展「埼玉の植物とその分布」           |
| 時代（とき）をこえて、古具に生ける              | 5月3日～5月7日                     | 12月16日～6月11日              |
| 5月3日～5月7日                      |                               |                           |
| 熱帯植物展                          | 5月16日～6月4日                    |                           |
| トロピカルフルーツ展                     | 6月6日～18日                      |                           |
| <b>ミュージアムパーク茨城県自然博物館</b>       | <b>NHK 放送博物館</b>              | 企画展「放送開始75周年展」            |
| 企画展「シーボルトの愛した日本の自然」            | 3月18日～6月18日                   | 2月2日～5月28日                |
| 3月18日～6月18日                    |                               |                           |
| <b>工業技術院地質調査所地質標本館</b>         | <b>国立科学博物館</b>                | 特別企画展「20世紀の国産車」           |
| 中部地方地質情報展                      | 5月1日～5月30日                    | 3月18日～6月4日                |
| 「中部地方の鉱物資源・名古屋市周辺の窯業原料」        | 5月1日～5月30日                    | 企画展「第16回植物画コンクール入選作品展」    |
| 5月1日～5月30日                     |                               | 4月29日～5月28日               |
| 「地球化学圏・名古屋から見える火山・重力で見える地球の内部」 | 6月1日～6月29日                    | <b>国立科学博物館筑波実験植物園</b>     |
| 6月1日～6月29日                     |                               | 企画展「クレマチス展」               |
| <b>つくばエキスポセンター</b>             | <b>交通博物館</b>                  | 「ふり返ればそこに青春!! 旅行ポスター浪漫展」  |
| つくば科学万博15周年記念特別展               | 3月18日～5月14日                   | 3月18日～5月14日               |
| 「サイエンストイ」                      | 5月1日～5月30日                    |                           |
| 4月4日～5月28日                     |                               |                           |
| 「つくば科学万博メモリアル展」                | 6月1日～7月18日                    | <b>東武博物館</b>              |
| 4月4日～7月30日                     |                               | 特別展「特急スペーシア就役10周年記念展」(仮称) |
| 「あそんでためそう! 七つの体験、感覚ひろば」        | 6月1日～7月18日                    | 5月30日～7月2日                |
| 6月1日～7月18日                     |                               |                           |
| <b>栃木県立博物館</b>                 | <b>船の科学館</b>                  | 海洋ウィークフェスティバル「ワールド シー     |
| 世界遺産登録記念特別企画展「聖地 日光の至宝」        | 4月18日～6月4日                    | ワールド春」                    |
| 4月18日～6月4日                     |                               | 4月29、30日、5月3日～7日          |
| <b>群馬県立自然史博物館</b>              | <b>東京農工大学工学部附属繊維博物館</b>       | 「大正・昭和の紋織の世界」～中西式電子紋織物～   |
|                                | 5月24日～28日                     | 5月24日～28日                 |
|                                |                               |                           |
|                                | <b>横浜こども科学館</b>               | 企画展「光のふしぎ～ホログラフィ2000」     |
|                                | 5月21日～7月9日                    | 5月21日～7月9日                |
|                                |                               |                           |
|                                | <b>馬の博物館</b>                  |                           |

春季特別展「旅一馬と人 浮世絵にみる東海道と木曾街道の旅」	4月22日～5月28日	特別陳列「絶滅危惧植物展」	4月1日～5月31日
<b>上越市立水族博物館</b>		<b>兵庫県立人と自然の博物館</b>	
春季特別展「グッピー展」	4月22日～5月28日	「絶滅—地球生物の過去・現在・未来—」	2月19日～6月18日
<b>新潟県立上越科学館</b>		<b>吉備高原ニューサイエンス館</b>	
サイエンス広場	5月3日～7日	特別展「くるまとあそぶ」	4月29日～5月7日
<b>富山市科学文化センター</b>		巡回展「科学遊園」(エネルギーと遊ぶ“科学のスポーツ広場”)	6月8日～7月30日
特集展示「収蔵品が語る富山の自然」	4月22日～5月28日	<b>広島市こども文化科学館</b>	
企画展「アイデア浮かぶ科学の広場」	6月11日～6月25日	「科学遊園」	4月29日～5月31日
<b>立山カルデラ砂防博物館</b>		「ありがとう20年記念展」	5月3日～5月31日
特別展「安政の大災害古絵図展」	4月26日～5月7日	<b>広島市江波山気象館</b>	
<b>岐阜県博物館</b>		気象記念日企画展「風と遊べ!おもしろカイトの世界展」	6月1日～7月2日
資料紹介展「はくせいほうんちしない～さるやきつねの巻～」	4月8日～6月11日	<b>徳島県立博物館</b>	
<b>中津川市鉱物博物館</b>		「藍—技と意匠の美—」	4月18日～5月21日
第5回私の展示室「草木漫步—写真とうたで綴る植物」	6月4日～7月9日	<b>愛媛県総合科学博物館</b>	
<b>名古屋市科学館</b>		館蔵品展「海の森—海藻の世界」	3月19日～5月7日
特別展「宇宙展2000～さあ始めよう時空の旅」	3月18日～5月14日	<b>防府市青少年科学館</b>	
<b>トヨタ博物館</b>		「未来の科学の夢絵画展」	4月29日～5月21日
特別展「自動車をつくり育てた人たち」	～7月30日	特別展「すばる展」	6月1日～7月16日
<b>和歌山市立こども科学館</b>		<b>鹿児島県立博物館</b>	
特別展「磁石の不思議」	3月25日～5月5日	企画展「のぞいてみよう街の自然」	4月28日～6月25日
<b>倉敷市立自然史博物館</b>		<b>九州エネルギー館</b>	
		特別展 環境画(油絵)	6月3日～18日
		<b>佐賀県立宇宙科学館</b>	
		企画展示「からくりおもちゃ箱」	4月29日～5月7日

## 展示更新

### 神戸市水の科学博物館

[展示室名] テーマシアター、ウォーターサイエンスゾーン、水とくらしのゾーン、水と環境・生命のゾーン  
 [主なコーナー(展示物)の名称] ハイブリッド3Dシアター、アクアイリジェーション

[更新の展示面積] 700m<sup>2</sup>

[オープンの日] 平成12年4月2日

[準備期間] 平成11年12月1日～平成12年4月1日

[担当業者] 設計・施工：(株)電通 展示：(株)ゼニヤ

[総工費] 300,000,000円

## —全科協情報—

## ○巡回展について

平成12年度（平成12年4月～平成13年3月）の開催予定は次のとおりです。

## 「ふしぎ大陸 南極展」

鳥取県立博物館 4月21日～5月21日  
 むつ科学技術館 5月27日～7月16日  
 札幌市青少年科学館 7月24日～8月20日  
 稚内市青少年科学館 8月24日～9月5日  
 秋田大学附属鉱業博物館 10月7日～11月26日  
 出水市ツル博物館 12月8日～1月31日  
 神奈川県立生命の星・地球博物館 2月10日～3月25日

## 「数学と遊ぼう—かたちと数のワンダーランド—」

福岡県青少年科学館 4月22日～5月14日  
 東金こども科学館 5月20日～6月18日  
 千葉県立現代産業科学館 6月23日～7月30日  
 日立シビックセンター科学館 8月5日～9月10日  
 横浜こども科学館 9月15日～10月9日  
 山梨県立科学館 11月7日～26日  
 浦和市青少年宇宙科学館 12月15日～1月15日  
 所沢航空発祥記念館 1月25日～2月25日  
 三重県立みえこどもの城 3月5日～4月10日

## 「すばる望遠鏡—宇宙を探る新しい眼—」

防府市青少年科学館 6月1日～7月15日  
 国立天文台 7月21日～8月6日  
 広島市こども文化科学館 8月13日～9月3日  
 大阪市立科学館 9月9日～10月5日  
 所沢航空発祥記念館 10月10日～11月5日  
 浦和市青少年宇宙科学館 11月15日～12月15日  
 日立シビックセンター科学館 12月20日～1月21日  
 葛飾区郷土と天文の博物館 1月27日～2月18日  
 福岡県青少年科学館 2月24日～4月4日

なお、平成13年度の「数学と遊ぼう」「すばる望遠鏡」の開催については現在調整中です。開催の希望がある場合はお早めにお申し出ください。

## ○ミュージアム・マネージメント研修について

博物館経営に関する資質向上を図るため、博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、博物館の管理・運営に関する専門的・実践的研修を行いました。

期 日：平成12年2月28日～3月3日（5日間）  
 会 場：国立科学博物館 ほか  
 対 象：自然科学系博物館等の管理部門職員など  
 参加人数：49名（24都道府県、45館）

研修では、有馬朗人元文部大臣による特別講演「博物館に求められるもの」のほか、有識者による講義が行われました。また、最終日には現地研修として、江戸東京博物館で「降雪博物館の運営努力と展示の評価・リニューアル」と題して、降雪博物館の運営上の課題、来館者調査等の展示評価について研修を行いました。

## ○ホームページ活用研修会について

科学系博物館の総合的な開発・高度化支援事業として、ホームページの基礎知識、作成から公開までに関する研修会（初級）を東京、大阪、福岡地区の3会場で実施しました。

## ・東京地区

期 間：平成12年2月16日～18日 受講者：22人

## ・大阪地区

期 間：平成12年1月19日～21日 受講者：15人

## ・福岡地区

期 間：平成12年3月8日～10日 受講者：10人

## 全科協ニュース編集委員会

NHK放送博物館	チーフディレクター	河野光子
滋賀県立琵琶湖博物館	展示科長	高橋啓一
ミュージアムパーク茨城県自然史博物館	資料課長	都賀和男
国立科学博物館	普及部 普及課長	佐藤兆昭
国立科学博物館	普及部 普及課専門職	原田紀子

## 全科協事務局

国立科学博物館普及部普及課 森田 淳 鈴木千絵  
 Tel.03-5814-9857・9858 Fax.03-5814-9898

発行日 平成12年5月1日

発 行 全国科学博物館協議会◎

〒110-8718 台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

印 刷 島崎印刷株式会社